

平成 29 年 1 月 27 日

心臓移植レシピエント選定の誤りについて

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

1. 判明した事実

- 平成 28 年 10 月より導入した新レシピエント検索システムに不具合があり、脳死下臓器提供 3 事例において心臓移植患者の選定を誤り、本来移植を受けるべき移植希望登録者 2 名が移植を受けられず、誤った選定による移植希望登録者が移植を受けた。
- 平成 28 年 10 月～平成 29 年 1 月 26 日の間の脳死下臓器提供：21 事例
- 誤った選定があった脳死下臓器提供：3 事例

2. 発覚の経緯

- 1 月 26 日 13 時 45 分頃、脳死下臓器提供 430 例目において、第 1 候補者及び第 2 候補者として選定された患者が同一の心臓移植施設を希望していたが、当該心臓移植施設の担当者に意思確認の連絡を行った際に、順位が逆ではないのかとの指摘を受けた。
- 直ちに心臓移植適合者検索結果一覧及び選定された患者の登録情報を点検し再計算した結果、Status 1 日数の計算が誤っていることが判明した。
- 直ちに当該事例のあっせんを中断し、あっせん担当者から専務理事・安全管理推進室長及びあっせん事業部長へ連絡した。
- 正しい選定順位の心臓移植適合者検索結果一覧の作成に着手した。
- 心臓以外の臓器の適合者検索結果一覧を点検し、正しく表示されていることを専務理事・安全管理推進室長に報告の上、15 時 35 分頃に心臓以外の臓器のあっせんを再開した。
- 正しい選定順位の心臓移植適合者検索結果一覧を作成し、専務理事・安全管理推進室長に報告の上、17 時 30 分頃に心臓のあっせんを再開した。
- 当該事例においては、正しい選定順位で各臓器移植のあっせんが行われた。
- 新レシピエント検索システムが導入された平成 28 年 10 月以降の脳死下臓器

提供事例（進行中の 430 例目を除く 20 事例）について、心臓移植適合者検索結果一覧を検証した結果、脳死下臓器提供 3 事例において心臓移植患者の選定を誤り、本来移植を受けるべき移植希望登録者 2 名が移植を受けられず、誤った選定による移植希望登録者が移植を受けたことが判明した。

- 1 月 26 日 20 時 37 分頃、理事長へ報告した。
- 1 月 26 日 21 時 50 分頃、厚生労働省へ連絡した。
- 並行して、システム会社に連絡し、新レシピエント検索システムの不具合の原因究明及び修正の指示を行った。

3. 選定の誤りの原因

- 検索システムの不具合：新レシピエント検索システムの心臓移植適合者検索結果一覧において、プログラムの不具合により、既に登録されていた心臓移植希望者の情報に修正を加えた場合に、Status 1 日数が正しく計算されない誤りがあった（詳細別紙参照）。

4. 心臓以外の臓器の選定の検証

- 新レシピエント検索システムが導入された平成 28 年 10 月以降の脳死下臓器提供事例（進行中の 430 例目を除く 20 事例）について、心臓以外の臓器の移植適合者検索結果一覧を検証中である。

5. 関係者への対応

- 本来移植を受けるべきであった心臓移植希望登録者及び移植希望施設、実際に心臓移植を受けた者及び当該心臓移植施設、臓器提供施設及びドナーご家族には、順次、連絡を取り経緯を説明し謝罪するところである。

6. 対応策

- (1) 全レシピエント選定項目について、新レシピエント検索システムに不具合等がないか早急に再点検並びに検証する。
- (2) 新レシピエント検索システムの導入時の検証に課題がなかったか、再検証する。
- (3) 事例発生時に、新レシピエント検索システムとリアルタイムに並行して検証する方法を検討中である。